

学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表

学士教育プログラム名称  
 電気電子工学 学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語(日本語と外国語)とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。
学士教育プログラム学習教育目標	(A) 電気電子技術者としての基礎学力の修得					◎		○
		コンピュータの操作とプログラミングの基礎を修得するとともに、自然科学、数学といった技術者の基礎知識・能力を高める事を目指しているため。さらに、電磁気学、回路理論、電気電子計測といった電気電子工学の基礎を修得する事を目標としているため。						
	(B) 電気電子分野の広がり の理解と専門的な課題に取り 組む素地の獲得					○	○	◎
		電気電子工学科を構成する三つの講座(電磁エネルギー工学分野、電子物性工学分野、電子システム工学分野)に関する知識を修得し、同時に問題解決能力や情報リテラシーの能力も高める事を目標としているため。						
	(C) 幅広い教養と豊かな知 性及び柔軟な思考力の修得		○	◎				
		幅広い教養を修得し、国際的・多角的に物事を考える能力を身につけるとともに、地域に根ざした歴史や文化、多様な価値観を理解する能力を修得することを目標としているため。						
	(D) 技術者としてのコミュニ ケーション能力の向上		○			◎	○	
	国際的なコミュニケーションを可能とする英語を中心とした語学力を身につける能力と社会的なルールや規範にのっとり専門的能力、情報リテラシーを駆使して論理的な記述、口頭発表、討論などのコミュニケーション能力を身につける事を目標としているため。							
(E) 技術者と社会との接点お よび技術者の倫理観および 責任の理解			◎	○				○
	専門的知識に基づき科学技術が社会に及ぼす影響を理解すると共に地域や社会性を考慮して技術者に必須となる法規や倫理規範に関する基礎的な知識を修得する事を目標としているため。							
(F) 問題理解、課題解決能力 の向上	○						◎	○
	各種制約条件の下で問題点を解決するための計画立案能力を修得する事と修得された専門的能力を活用して主体性をもって計画を具体的に実行する能力を修得する事を目標としているため。							
(G) 自主学習能力の向上		◎					○	
	演習などをとおして、自主的に調査・学習する能力を修得する事と与えられた課題を期限内に仕上げたり、問題を解決する能力を修得する事を目標としているため。							